

鯖江で750人参加し 脱原発訴える集会

脱原発を訴える集会「3・11メモリアルアクション 原発のない新しい福井へ」が九日、鯖江市東鯖江三丁目の市文化センターで開かれた。原子力発電に反対する福井県民会議など四十以上の団体からなる実行委員会が主催し、七百五十人が参加した。

パレードで原発ゼロを訴える参加者＝鯖江市東鯖江3丁目で



宇宙飛行士の秋山豊寛さん、作家の広瀬隆さん、山

3/10 福井県民

本太郎参院議員、「原発いらない福島の人たち」の木田節子さんの四人が登壇。

「原発の火を再びつけてはだめ」「原発ゼロでも、電気は安定供給されている」などと訴えた。歌手の加藤登紀子さんからのビデオメッセージも流された。

実行委員の山本貴美子さんは「原発を再稼働しないように訴える福井県民署名運動を始める」と、集会の決意表明文を読み上げた。合唱やパレードも行い、さまざまな手段で再稼働反対のメッセージを発信した。

(林朋実)